

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

令和5年度第2回久喜市地域公共交通会議

事務局
(根本課長)

定刻になりましたので、ただいまから、令和5年度第2回久喜市地域公共交通会議を開催いたします。

私は本日の司会・進行を務めさせていただきます、交通企画課の根本と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

続いて、事前に委員の皆様へ送付させていただいております、会議資料について確認させていただきます。

まず、本日の会議の「次第」でございます。次に、

資料1「アンケート調査結果」

資料2「久喜市地域公共交通計画策定について（公共交通の現状と課題）」

資料3「久喜市地域公共交通調査等業務委託報告書（案）」

資料4「久喜市公共交通の見直しについて」

資料5「デマンド交通（くきまる）の乗降ポイント（目的地）について」

資料6「デマンド交通（くきまる）の乗降場所の変更について」

資料7「幸手市乗合型デマンドタクシーについて」

参考資料1「久喜市市内循環バスの利用状況」

参考資料2「久喜市デマンド交通（くきまる）の利用状況」

参考資料3「くきふれあいタクシー（補助タク）の利用状況」

以上でございます。不足等ございましたら、事務局へお声がけくださるようお願いいたします。

次に会議開催についてでございます。久喜市地域公共交通会議は、久喜市地域公共交通会議条例第7条第2項により、委員の過半数が出席しなければ開くことができない規定となっております。

本日は、25名中17名の方へ出席いただいておりますので、本会議が成立していることを、ご報告させていただきます。

なお、本日の傍聴者は、現時点ではおりません。

本日は第1回の会議に引き続きまして、久喜市地域公共交通計画の策定に係る調査等業務委託の受託業者であります、東日本総合計画の天野様、青木様、八十島様へ出席いただいております。

また、幸手市が実施を予定している乗合型デマンドタクシーの説明に、幸手市市民生活部部長の柳下様、市民協働課課長の野川様、市民協働課主幹の千葉様にも出席いただいております。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、次第に基づきまして、会議を進めさせていただきます。

会議開催にあたりまして、小澤会長からごあいさつをお願いいたします。

小澤会長

【小澤会長あいさつ】

事務局
(根本課長)

小澤会長、ありがとうございました。

続きまして、議事でございますが、会議の進行につきましては、久喜市地域公共交通会議条例第7条第1項の規定により、会長に議長をお願いし、議事を進めていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

小澤会長

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。

議事が円滑に進行いたしますよう、皆様方のご協力をお願いいたします。

はじめに、会議録の署名委員でございます。今回の会議録署名につきまして、前回会議からの順番ということで、丸山委員さんと、柴木委員さんをお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

それでは、次第に基づきまして、議事を進めさせていただきます。
議題（１）「アンケート調査について」、説明をお願いします。

東日本総合計画
株式会社 八十
島

【資料１により説明】

小澤会長 ただいまの説明について、ご質問等はございますか。

柴木委員

１６ページと１７ページに質問があります。

路線バスの利用頻度についてほぼ利用しないが８６．２％、市内循環バスの利用頻度についてもほぼ利用しないが９２．４％と高いのですが、この中で、栗橋地区は路線バスがなく、鷺宮地区も鷺宮団地を経由するところぐらいでほぼない状況です。

鷺宮地区と栗橋地区の回答者は、バスが元々ないので、ほぼ利用しないと思われます。

この数字は、全体で出ているのですが、正確性の観点からいうと、走っていない地区の方がどのくらい回答されているのか教えていただきたいと思います。

東日本総合計画
株式会社 八十
島

本日のこの資料には掲載しておりませんが、内部資料では、地区別の利用の有無について確認できますので、追ってお知らせできると思います。

柴木委員

１８ページと１９ページでも同様ですが、デマンド交通（くきまる）の運行している地区が、菖蒲地区と栗橋地区、鷺宮地区だけなので、久喜地区の人はデマンド交通（くきまる）を利用することはほぼ無いはずですが。

ここも地域ごとにデータを出していただければわかりやすいと思います。

くきふれあいタクシー（補助タク）は、どこの地区でも利用できますが、年齢が制限されているので、年齢で分けた方がいいですね。

ご年配の人が利用されるので、どのくらいの年齢層が回答されたかわかると、利用されている方のパーセンテージが明確にできるかと思います。

東日本総合計画
株式会社 八十
島

各項目の利用対象者ということなので、追って提示させていただきます。

小澤会長

それ以外にご質問はありますか。
なければ次の議題に移らせていただきます。
続きまして、議題（２）「公共交通の現状と課題について」、説明をお願いします。

東日本総合計画
株式会社 青木

【資料２、資料３により説明】

小澤会長

ただいまの説明について、ご質問等はございますか。

柴木委員

６ページですが、先ほどと一緒に、市内循環バスの認知度、利用頻度について、地域別、年齢別に細かく出していきたいと思います。

デマンド交通（くきまる）についても同様に出していただけるとわかりやすい資料になると思いますのでお願いいたします。

東日本総合計画 基本的に、利用対象者がどう考えているかという視点で整理し修正いたしま
株式会社 青木 す。

石田委員

アンケート調査の13ページで、交通手段に困っていないという回答が74.1%ありますが、何もしなくてよいということではないと思っています。資料2や資料3でまとめていただいたように、公共交通の現状やまちづくりの中で、公共交通を活かしていく必要もあるので、資料にあるように3つの観点から課題を整理したのはいいと思います。そのうえで2つ意見を述べさせていただきます。1点目は、資料3の中の26ページで、携帯の端末情報で分析を行っているところですが、今後検討を進める中で、詳細な移動状況について市全体だけでなく、地区内の移動についても詳細に把握する必要があると思っています。それと使えるようであれば、パーソントリップ調査や総合交通分析システム(NITAS)なども使って市民の移動を把握した上で、今後の施策の提案につなげて頂ければと思っています。もう一点ですが、私は菖蒲に住んでいて、駅への移動を改善していければと思っています。資料3の最後のページの真ん中にある、今後のまちづくりに対する公共交通の課題に「駅などの公共交通の拠点地域への移動における利便性の向上」とある一方、下の6つの課題からはそれが読めないで、例えば、駅や公共施設へのアクセス性の確保とするか、もう少し一般化して、公共交通及び都市機能の拠点地域(都市核)へのアクセス性確保として加えていただければと思っています。

東日本総合計画 株式会社 青木

1点目ですが、資料2の1ページ目で、通勤、通学の流動について大まかな動きは示させていただき、具体的な中の動きについては、端末情報で整理しようというところでした。大まかな動きは把握していますが、その他のオープンデータも使用して、お示ししていきたいと思っています。2つ目ですが、移動をしっかりと把握した上で詳細な課題を出し直し、駅に限らずどこにどのようなサービスが必要かを整理していきたいと思っています。隣接市町村との関係も含めて総合的に考えて、来年度、計画にまとめていきたいと思っています。

田沼委員

課題がいろいろ挙がっていますが、アンケート調査なので、利用者目線がほとんどなのかと思っています。一方、報道にもありますように、運転手の担い手不足もあり、要望があっても対応できない状況が出てきておりますが、資料3の最後の課題の中にそのことが触れられていないので、そのような現状があることを加えていただきたいと思っています。

東日本総合計画 株式会社 青木

担い手不足については、昨今、国の方でも言われていることで、それに応じた新たな公共交通の動きが出ていると思います。そうした状況を踏まえますと、運転手の担い手不足については触れずにはられないことですので、付け加えてまいります。

大迫委員

私は、視覚障がい者ですので、アンケート調査を耳で伺っておりました。アンケートは、無作為で出していると思いますので、車の利用者が多いということは、若い方が多いのだと思います。公共交通は、障がい者、高齢者などに一番いい方法を取り入れる必要があると思うので、アンケートをする場合、年齢層を考慮して欲しいと思っています。

東日本総合計画

アンケート調査については、いろいろな意見がありましたが、公共交通は誰の

株式会社 青木	ためにやるのか、利用するであろう人はどのように考えているかというところをしっかり着目して集計してまいりたいと考えております。
石田委員	資料3の122ページの課題④で、久喜市が運行する公共交通の認知度及び利用率の向上とあるが、上に記載されている「久喜市が運行する公共交通の現状」に引っ張られて、そのような記載になっていると思います。 例えば、循環バスやデマンド交通（くきまる）だけでなく、路線バスや公共交通全体について、認知度や利用率の向上につなげていければいいのかなと思いました。
東日本総合計画株式会社 青木	今回の計画では、市が運行する公共交通に着目しましたが、当然、鉄道、路線バス、タクシーも視野に入れながら整理していきたいと思います。
明野委員	当初、市内循環バス、デマンド交通（くきまる）、くきふれあいタクシー（補助タク）の3つの公共交通を始める時の基準として、今ある公共交通（鉄道、路線バス、タクシー）をしっかり意識して、その中で足りないものをやろうということで、この会議では久喜市が主導する公共交通をやっていくという話であったと思います。 その中で、現在、バスやタクシーの運転手不足、トラックの2024年問題が出てきました。 これらを全て計画に落とし込む訳にはいかないですが、久喜市全体を見るという点では、現在の公共交通も踏まえた計画を立ててもらいたいと思います。 近隣の地域では、タクシーを配車できないという地域が出てきています。 バスも、隣の白岡市は1年半で路線バスが1本無くなりました。 2010年代で路線バスは、1.2万キロ廃止されているそうです。 東京からキューバまでの距離です。 本来なら、一般企業がやればいいのですが、それができないので、市の方でお手伝いをしていただければと思います。
東日本総合計画株式会社 青木	鉄道、路線バスのしっかりした軸があって、それを生かすために市の3つのサービスがあるという認識であることは確かで、本編の方では、鉄道や路線バスの他、移動に関わるものすべての現状も整理しています。 資料2は、抜粋で作成しているもので、3つの公共交通に絞りすぎているところがありましたので、広い視点で整理し直したいと思います。
事務局（根本課長）	今の話の補足ですが、市では民間の公共交通は主軸、市の運行している公共交通はそれを補完する立場であると考えています。 その点は、今後も一貫していくもので、令和6年度に基本方針を定める中でもうたっていきたいと思っております。
小澤会長	続きまして、議題（3）「久喜市公共交通の見直しについて」、説明をお願いします。
事務局（齊藤課長補佐兼係長）	【資料4により説明】
小澤会長	ただいまの説明について、ご質問等はございますでしょうか。
柴木委員	変更前のデマンド交通（くきまる）は4台ということですが、増やす1台のタイプは、ワゴンタイプとタクシータイプのどちらになりますか
事務局（齊藤課長補佐兼係長）	セダンのタクシー車両を予定しています。

丸山委員	<p>デマンド交通（くきまる）の値上げについては、運賃協議会で協議ということですが、1回300円が500円、新久喜総合までは600円が800円ということで、使用する側からすると高いと思います。</p> <p>何とか考えていただけないかと思います。</p>
事務局（齊藤課長補佐兼係長）	<p>料金につきましては、運賃協議会で諮ることになりますが、この値上げの主な内容については、過去に公共交通会議で決定したものとなっています。</p> <p>民間の交通事業者の経営が厳しい状況にある中、昨年、タクシーの運賃が値上げされ、路線バスも値上げされました。</p> <p>その中で、市の公共交通だけ現状維持するのは難しいと思っております。</p>
田沼委員	<p>デマンド交通（くきまる）の車両台数の増加ですが、栗橋地区・鷲宮地区は、人が多いから予約が取りにくいということですので、台数を増やせば予約を取りやすくなると思いますが、資料2の5ページで、収支率がとても厳しいという話がありました。</p> <p>そうなると台数を増やすことで収支率が余計に悪化して、突然、市が公共交通を辞めるということになると、市民の皆さんの足が無くなってしまうという状況になるわけで、そういったことも考えたうえでの台数の増加ということでしょうか。</p>
事務局（齊藤課長補佐兼係長）	<p>今回台数を増加するにあたって、当然運行経費が上がることになりますが、その分、運賃を上げることによって、運行経費に充てていく考えです。</p> <p>運賃が上がると利用者が減ることも想定されますので、そのこともシミュレーションもしていますが、実際運行しながら見定めていきたいと思っております。</p>
村上委員	<p>資料2の5ページで、各公共交通の収支率などが出ていますが、シミュレーションをした結果を教えてくださいということと、デマンド交通（くきまる）で、菖蒲地区から新久喜総合病院への運賃を高くしているということですが、利用者が多いから高くしているのでしょうか。理由を教えてください。</p>
事務局（齊藤課長補佐兼係長）	<p>見直し後の収支率は、市内循環バスが22.0%、デマンド交通が7.3%を見込んでいます。</p> <p>2つ目の菖蒲地区から新久喜総合病院への運賃を高くしている理由ですが、菖蒲地区には大きな病院が無いというところで要望がありましたが、エリアを超えるということで、他の路線バスよりも極端に安くないように、他の公共交通との比較から決めたところです。</p>
柴木委員	<p>今の説明を補足させていただきたいと思えます。</p> <p>私、この会議に10年以上参加させていただいて、金額を値上げしようとなった一番のポイントは、割引で利用されている方が、参考資料2にデマンド交通（くきまる）の利用者数が出ていて、令和4年度12,745人、全利用者数が18,901人で、約7割以上の方が割引で利用されています。</p> <p>そうすると、300円の半額、150円で利用することになり、バスとほとんど変わらない。</p> <p>それで市の負担が大きくなっていることから、収支を少しでもよくして、運行を継続できる金額として500円を設定したというところで、ご理解いただければと思います。</p> <p>それと地域の越境についてですが、なぜ、菖蒲地区以外は基本的に運行させないのかということ、そもそも路線バスの利用者が減ってしまうと、路線バス自体が廃止されてしまっ菖蒲地区の方が困ってしまうという懸念がありました。</p> <p>菖蒲地区から新久喜総合病院には路線バスでも行くことはできます。</p> <p>でも、体調が悪いのでデマンドで行きたいという人のために、バスより料金は</p>

高いですけど、どちらを利用しますかという選択制ということで設定したところ
です。

丸山委員

金額設定のことはわかりますが、菖蒲地区でも小林・栢間地区は、バスに行く
には乗換えが必要となり、運賃はバスとほとんど変わらないです。

小林・栢間地区は料金よりも、朝日自動車で桶川駅から久喜駅までの路線を
作ってほしいという希望はありますけども、そういったことから直接、新久喜総
合病院へ行けるデマンドの料金が上がるということで意見をしたところです。

話は変わりますが、朝日バスで昨年、桶川からモラージュまでの路線が、他の
路線バスと同じように、小林にも止まるようになったので感謝しています。あり
がとうございました。

明野委員

先ほどの運賃改定を話し合ったとき、近隣市の収支率を出してもらいました。
白岡は2台で14%でしたが、久喜市は4台です。

台数を増やして、みんなが便利になると収支率は下がります。

そこで、市の方ではどこまでが許容率か考える必要があります。

収支率だけ考えるならば、各地区1台にするか、運賃を上げるかのどちらかしか
ないです。

赤字のところを市が分担しているのですが、どこまでやるか、でも、収支率が
悪いだけではなく、我々ももっと乗ってもらいたいので、市がどれだけの予算を
見ていただけるのかになります。

白岡市は500円で、久喜市は安いと思っていました。

収支率だけでみると、どんどん不便になってしまうという見方もあるのかなと
思います。

小澤会長

ありがとうございました。

他にないようでしたら、料金以外のところで、承認することを決定してよろし
いでしょうか。

【賛同の声あり】

小澤会長

ありがとうございました。

この内容で承認することに決定いたしました。

それでは、次の議題に移らせていただきます。

続きまして、議題（4）幸手市乗合型デマンドタクシーの実証運行事業（案）
についてです。

幸手市様より説明をお願いいたします。

幸手市

柳下市民生活部

長

野川市民協働課

長

【資料7により説明】

小澤会長

ただいま、幸手市乗合型デマンドタクシーの乗降場所について説明がございま
した。

この乗合型デマンドタクシーの運行にあたり、運輸局に届出をすることになり
ますが、その際、乗降場所となる久喜市の交通会議で承認する必要がございま
す。

委員の皆様から、ご意見やご質問等はございますか。

常見委員

資料の2ページの図ですが、乗降ポイントは、幸手市のところだけに設置され

るのでしょうか。

幸手市野川市民協働課長

こちらは、以前路線バスが運行していて、それが廃止になったことで、交通手段の確保に苦慮する幸手市民を対象に提供させていただくもので、停留所を設置するのは、幸手市内のみを予定しています。

柴木委員

私は、この地域連携というか広域で公共交通を守っていくことを歓迎したいと思っております。

例えば、将来、幸手駅の久喜側のロータリーの道路が整備されたときに、久喜の東口栗原地区の方は、久喜駅より幸手駅の方が近いというふうになった時に、久喜側として幸手駅のロータリーに乗降ポイントを設けたいと思った時に、話し合いに乗っていただけますでしょうか。

幸手市野川市民協働課長

現状として、久喜駅から幸手駅の西口に乗り入れる路線バスがあるということをお知らせさせていただきます。

柴木委員

デマンド交通などの乗降ポイントが幸手市側に設置される際には、お互い様だと思いますので、その際はよろしく願いいたします。

小澤会長

それでは、幸手市のデマンドタクシー実証運行について、久喜市への乗り入れ、そして、東鷲宮駅に停留所を設置することについて、承認することを決定してよろしいでしょうか。

【賛成の声あり】

小澤会長

ありがとうございました。
以上で本日予定していた議題は終了いたしました。
皆様には、進行にご協力いただきありがとうございました。
これを持ちまして、議長の任を解かせていただきます。

事務局（根本課長）

ありがとうございました。
続きまして、その他でございます。
事務局から説明いたします。

事務局（斉藤課長補佐係長、永井主事）

【事務局より説明】

事務局（根本課長）

ただいま、デマンド交通（くきまる）乗降ポイントの追加について説明がございました。
このことについて、委員の皆様から、ご意見やご質問等はございますか。
その他、ご不明な点がございましたら、後ほどでも事務局まで問合わせていただければと思います。

事務局（根本課長）

それでは、閉会にあたりまして、柴木副会長からごあいさつを頂戴したいと存じます。

柴木副会長

皆さん、大変お疲れ様でございました。
今日は、盛沢山の会議内容で、沢山のご意見をいただきまして、これから、久喜市の公共交通が益々発展していくものと確信いたしました。
また、日ごろより、安心安全な公共交通の運行について、協同バス、朝日自動車、タクシーなど、運行事業者の皆様、大変ありがとうございます。

この地域公共交通会議は、運賃に関しては別の会議体でお決めしていただくと、その中で、久喜市地域公共交通会議は、この運行を一日でも長く、市民の皆様にご利用いただくよう、しっかりと協議してまいりたいと考えております。

次回の会議では、今回、意見を述べさせていただきました件について、資料の方がブラッシュアップされていくのかと考えておりますので、ぜひ、次回の会議にもお越しいただきたいと思っております。

本日は大変お疲れさまでした。

事務局（根本課長）

長時間にわたり、ご協議を賜り、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第2回久喜市地域公共交通会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。（注）

令和6年4月8日

丸山悦子

柴木健之

（注）特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。